

グループ討議の進め方

(1) 4つのグループに分かれる

指定されたグループごと(7～8人)に分かれます。グループ討議テーマは毎回、異なった分野の事例を設定します。

(2) 各グループで指定された立場の側に立った意見を出す

設定されたテーマについて、①障害のある人と、②障害のない人・事業者等のいずれかの立場が指定されますので、グループ内では障害のある人もない人も指定された立場の意見を出してください。

(3) 各グループの代表者から主な意見を発表する

全体の会場に戻って、各グループの代表者(任意)から、主な意見を発表してください。

(4) 会長が総括する

◇グループ討議テーマ：車いす利用者に対する航空機への搭乗拒否

車いす利用者が航空機に搭乗しようとした際に、「タラップ(乗降に使う移動式の階段)を上り下りできない人は搭乗できません」と係員から説明された。「同行者が車いすを担いでタラップを上がります」と申し入れたが、

「^{くるま}車^{かつ}いすを担いで^{あが}タラップを上^{たいへんきけん}ることは大変危険^{あんぜんじょう}なので安全上^{りゆう}の理由から

^{みと}認めていません」と^{ことわ}断られた。

* AグループとCグループは^{くるま}車^{りようしゃ}いす利用者^{たちば}の立場で、BグループとDグループは

^{こうくうがいしゃ}航空会社^{たちば}の立場で、それぞれ^{そうてい}想定される^{じじょう}事情や^{たいおう}どういう対応^{もと}を求めるかなど^{いけん}意見を

^だ出し合^あってください。

* グループ^{とうぎ}討議の目的^{もくてき}は、事例^{じれい}の対応^{たいおう}が^{ただ}正しかったかどうか^{けんしょう}を検証することではな

く、^{そうほう}双方^{たちば}の立場^{じゅうぶん}について^{かんがえ}十分に^{そうごりかい}考え、相互理解^{じつげん}の実現^{めざ}を目指すことです。